

オモン火力発電所2号機建設計画【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成26年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ベトナム
(2) 案件名	オモン火力発電所2号機建設計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>メコンデルタ地域を主とするベトナム南部の電力供給体制の増強を図り, 電力供給事情と地域住民の生活環境の改善に寄与するもの。また, オモン火力発電所の子会社化に係る支援を行うことで, ベトナム電力セクター改革を推進するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木工事</li> <li>・コンサルティングサービス</li> </ul> <p>ア 閣議決定日 : 平成16年3月30日                  イ 供与限度額 : 275.47億円                  ウ 金利 : 1.3%                  エ 償還(据置)期間 : 30(10)年                  オ 調達条件 : 一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会的ニーズの現状</p> <p>ベトナムは近年, 年平均7%前後の高いGDP成長率を記録し, これに伴い, 平成18年から平成22年までの電力需要は年平均13.4%で伸長し, 最大需要は約1.7倍に増加している。他方で電源開発の進捗は, 資金不足等の要因により計画から遅延した結果, 電力需給が逼迫し, 平成21年~平成22年には, 計画停電が実施される等, 同国の経済・社会活動に負の影響を与えており, 本事業に関する社会的ニーズは引き続き大きい。</p>

	<p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>調達手続きの遅延、及び技術仕様検討等に関するベトナム政府における変更・承認手続きの遅延により、事業遅延が発生したが、現在、事業は順調に進められている。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズは引き続き大きく、事業遅延の要因は解消され、また、事業完成後は当初の見込み通りの効果が予測されることから、引き続き支援を継続していく。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交換公文</li> <li>・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anken/zyoukyou.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anken/zyoukyou.html</a>)</li> <li>・ 国際協力機構の案件検索 (<a href="http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php">http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php</a>)</li> <li>・ 国際協力機構の事業事前評価表 (<a href="http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html">http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html</a>)</li> <li>・ その他国際協力機構から提出された資料</li> </ul>